

令和6年度

厚東小校長室だより



令和6年6月27日

心を込めて、気持ちのよい挨拶を

本校の子どもたちは、地域の方々へ気持ちのよい挨拶ができておりますでしょうか。まだまだ元気が足りなかったり、「自分から率先して」という点においてできていないこともあるかもしれませんが、学校でも日々指導を重ねておりますので、どうか地域の皆様や保護者の皆様におかれましても、温かくお声かけいただけると幸いです。

さて、そのような挨拶に関連するエピソードを一つ紹介します。広瀬方面から木田行きのバスに乗って登校してくる子どもたちがいます。本校下のバス停「厚東市民センター」で下車するのですが、その際の子どもたちの様子を見てみると、ICカードをタッチするときに、一人ひとりが運転手さんに「ありがとうございました」とお礼の挨拶をしています。さらに、全員が下車して並んだあと、バスが発車する前（右写真の少し前）に、班長さんや高学年の人を中心に、運転手さんに体を向けて、「ありがとうございました」という気持ちを込めて会釈をしています。これらの様子は、見ていてとても気持ちのよいものです。おそらく運転手さんも、それを目にした他の乗客や道行く人々も、気持ちよくなるのではないのでしょうか。



これとは別に、棚井方面から徒歩で通学してくる子どもたちも、付き添ってくださった見守り隊の方との別れ際に、「ありがとうございました」と挨拶をしています。これも素敵な場面です。

挨拶や会釈には、相手や周囲の人々を気持ちよくする不思議な力があります。挨拶や会釈を率先して行おうという気持ちをもっている人は、相手を思いやることのできる人に育っていくことでしょう。このような子どもたちを、厚東小でたくさん育てていきたいと思ひます。

厚東川中学校区 4校合同引き渡し訓練

6月19日（水）に、厚東川中学校区4校合同引き渡し訓練を実施しました。保護者の皆様におかれましては、大変お忙しい日中にご協力をいただき、誠にありがとうございました。

実際に不審者事案等が起きて引き渡しをしなければならない場合には、「本校の校舎まで直接迎えに来ていただかなければならない。」「小中学校が同時に引き渡しをしなければならない。」ということになります。その際、保護者によっては小・中学校の両方に行く必要があり、保護者のお迎えに時差が生まれることになります。そのことが、「本校へつながる道路が狭く車がすれ違いうことができない」という状況にどのような影響を与えるのか、実際にやってみないと分からないという現状がありました。そこで、今回の訓練実施のお願いをさせていただきました。

また、本番を想定して、厚東地区自主防災会防犯連絡所指導員の方々との連携にも取り組みました。今回は交通整理をお手伝いいただきました。今後も、地域や関係機関と連携した訓練を実施していきたいと思ひます。引き続きご協力をお願いいたします。



（校長 西嶋 智）